



## 戦争遺跡保存全国ネットワークニュース

【発行】戦争遺跡保存全国ネットワーク

〒380-0928 長野市若里 3-5-5 きぼうの家

TEL・Fax 026-228-8415 e-mail [kibonoie@nifty.com](mailto:kibonoie@nifty.com)

### 第14回戦争遺跡保存全国シンポジウム南風原大会要項

大会テーマ『ヒトからモノへー戦争遺跡の保存・活用、次世代への継承を考えるー』

#### 1. 主催

南風原町

戦争遺跡保存全国ネットワーク

沖縄平和ネットワーク

南風原平和ガイドの会

現地事務局(南風原文化センター)

沖縄県南風原町字喜屋武 257番地

TEL098-889-7399 Fax098-889-0529



南風原文化センター

#### 2. 趣旨

沖縄戦から65年目の沖縄。沖縄戦体験者が人口の2割を切り、体験者による沖縄戦継承が難しくなっている。そこで近年、ヒトからモノで戦争を語ることが重要視されている。モノのなかでも戦争遺跡が「戦争の生き証人」として、体験者に代わる「語り部」として注目され、その保存活用が今日的な課題になっている。

こうした動きのなか、南風原町は1990年、全国ではじめて沖縄陸軍病院南風原壕群を町文化財指定し、2007年には20号壕を公開した。同年には南風原平和ガイドの会が発足し、2009年には南風原文化センターが新設開館した。これらの取り組みは戦争遺跡保存活用の先駆的な役割を果たしている。さらに南風原町は、1998年に「第2回戦争遺跡保存全国シンポジウム」を開催した。そして12年経った今年、あらためて本大会「第14回戦争遺跡保存全国シンポジウム」を開催する。

沖縄平和ネットワークは結成以来、戦争遺跡保存活用に積極的にすすめるとともに県内「平和ガイド」の結成にはずみを与えた。また、戦争遺跡保存全国ネットワークも戦争遺跡保存活用の全国ネットワークをつくり、現在49団体が加盟している。

こうした取り組みの結果、現在全国の指定文化財及び登録文化財は160件、県内でも13件、と年々増加している。このことは戦争遺跡の価値が社会的に認知されつつあることをあらわしている。反面、県内をはじめ全国各地で戦争遺跡が破壊されていることも見逃すことはできない。

本大会は、①南風原町の戦争遺跡に対する取り組みや沖縄平和ネットワークの活動、さらに県内「平和ガイド」の活動を県内外に発信する②全国の戦争遺跡保存団体の活動から学び、交流を深める③戦争遺跡の文化財指定の促進と戦争遺跡保存活用の理念と方法の確立を図る④戦争遺跡を通して次世代に伝える取り組みの更なる発展を図ることを目的に開催する。

### 3. 日 程

2010年

- 6月19日(土) 9:00~12:00 開会集会 シンポジウム  
13:00~16:30 分科会  
17:30~20:30 交流会
- 6月20日(日) 9:00~10:00 全国ネット総会  
10:30~15:00 分科会  
15:30~17:00 閉会集会  
17:00~18:30 オプション①沖縄陸軍病院南風原壕めぐり(別紙)
- 6月21日(月) 9:00~17:00 オプション②県内戦跡めぐり(別紙)
- ※6月14日~6月23日 南風原文化センター企画展「全国戦争遺跡写真展」

### 4. 会 場

南風原町

- 中央公民館ホール 開会集会、第一分科会、全国ネット総会  
中央公民館第3研修室 第二分科会  
南風原文化センターホール 第三分科会、交流会、閉会集会  
南風原文化センターロビー 展示会「全国戦争遺跡写真展」

### 5. 参加費(資料代)

- 一 般 1日目500円、2日目500円 (2日で1,000円)  
学 生 1日目300円、2日目200円 (2日で500円)  
高校生以下 無料

### 6. シンポジウム

テーマ「戦争遺跡の保存・活用の現状と課題」

パネリスト 十菱駿武(全国)、吉浜忍(沖縄)、大城和喜(南風原)  
北原高子(長野県松代)、愛沢伸雄(千葉県館山)

コーディネーター 村上有慶(全国ネット)

- ・12~14年間の戦争遺跡の保存・活用の運動について、その成果と課題を踏まえて発言する。

### 7. 分科会

第一分科会「保存運動の現状と課題」  
・戦跡とは何かの議論も含めて

第二分科会「調査の方法と整備技術」

第三分科会「平和博物館と次世代への継承」  
(ガイド活動を中心に)  
・ガイド活動を中心に県内外の交流の場にする

### 8. 交流会

南風原平和ガイドの会が担当する。会費2000円。

### 9. 実行委員会組織

- 実行委員長 吉浜 忍  
(南風原町文化財保護委員会)
- 副委員長 村上有慶  
(全国ネットワーク)
- 副委員長 藤原政勝  
(南風原平和ガイドの会)
- 副委員長 大城和喜  
(南風原文化センター)
- 事務局長 上地克哉  
(南風原文化センター)
- 事務局次長 大城牧子  
(沖縄平和ネットワーク)

ジャンボタクシーで沖縄の戦跡をあるく（1台あたり8人）

集合場所：南風原文化センター

参加費：3500円（北部コースのみ4500円） ※入館料、食事代は実費

※申し込み状況により、第2・3希望への移動の可能性があります

※当日の天候、状況により若干のコースの変更の可能性があります

**(1) 北部コース（特別コースとして時間を8時から6時まで）**

宜野座博物館（収容所と野戦病院）、辺野古・大浦湾（大浦崎収容所跡、瀬嵩収容所跡）、武田薬草園、田井等収容所（孤児院）、多野岳（昼食）愛楽園の沖縄戦（ハンセン病と戦争）、登野喜屋住民虐殺事件現場、御真影奉護壕

**(2) 中部コース（読谷を中心）**

首里第32軍司令部壕、栄橋（嘉手納高校脇）、嘉手納基地、座喜味城跡（昼食）、読谷飛行場跡の掩体壕、忠魂碑、読谷村役場と憲法9条の碑、シムクガマ、チビチリガマ、特攻艇秘匿壕群

**(3) 中部コース（沖縄市・具志川など）**

嘉数高台、白比川沿特攻艇秘匿壕、北谷上陸米軍地、忠魂碑・奉安殿、美里「集団自決」跡地（昼食）ヌチシヌジガマ、石川収容所跡・宮森小学校ジェット機墜落事件現場、具志川グスク「集団自決」碑、中城湾沿の銃眼、戦後引揚者上陸碑

**(4) 浦添・西原・那覇コース**

浦添グスク跡の戦跡、西原陣地壕、小波津家の弾痕跡、（昼食）、県庁壕、真嘉比壕跡、シュガーローフ、城岳の壕、海軍壕

**(5) ひめゆりコース**

安里駅（師範学校女子部・県立一高女校舎）、首里第32軍司令部壕、アブチラガマ、与座ガー、平和の礎、（昼食）、第一外科壕、第三外科壕、荒崎海岸

**(6) 白梅・ずいせん・でいご学徒コース**

松山公園（県立第二高女学校跡）、ナゲーラ壕、ヌヌマチ・ガラビガマ、八重瀬岳第一野戦病院壕跡、白梅の塔、米須の壕、でいごの塔、平和の礎

**(7) 男子学徒コース**

首里城周辺（師範男子、工業健児、一中会館）、摩文仁（工業健児の塔、韓国人慰霊塔、第32軍司令部壕、健児の塔と下の海岸）魂魄の塔

**(8) 住民と南部避難—1**

旭ヶ丘公園（小桜の塔・対馬丸記念館）、嘉数高台、潮平権現壕、米須集落、魂魄の塔、平和の礎・沖縄県平和資料館・韓国人慰霊塔

**(9) 住民と南部避難—1**

嘉数高台、前川民間防空壕群、ガラビガマ、八重瀬岳上、真栄平（南北の塔）、真壁（萬華の塔）、轟の壕、喜屋武岬下の銃眼、マヤーガマ、魂魄の塔、平和の礎・沖縄県平和資料館・韓国人慰霊塔

**(10) 碑文コース**

嘉数高台、小桜の塔と周辺、海軍壕、南北の塔、萬華の塔、韓国人慰霊塔、摩文仁丘、魂魄の塔、ひめゆりの塔、白梅の塔

**(11) 那覇・半日コース（14時 文化センター着予定）**

旭ヶ丘公園（小桜の塔・対馬丸記念館）、県庁壕、真嘉比壕跡

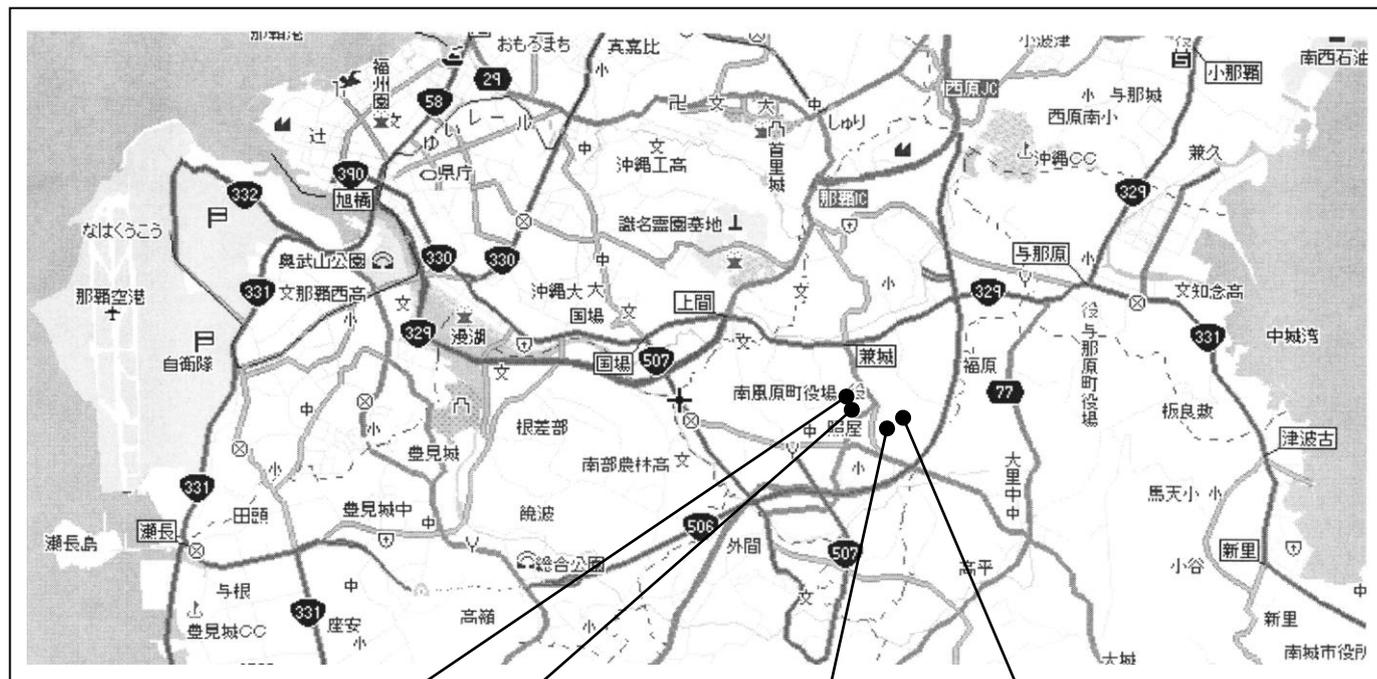
**(12) ひめゆり学徒・半日コース（14時 文化センター着予定）**

アブチラガマ、与座ガー、第一外科壕、第三外科壕、荒崎海岸

**(13) 白梅・ずいせん・でいご学徒・半日コース（14時 文化センター着予定）**

ナゲーラ壕、八重瀬岳第一野戦病院壕跡、ヌヌマチ・ガラビガマ、白梅の塔、でいごの塔

# 会場案内



南風原町役場

南風原町立中央公民館  
南風原町兼城689番地  
TEL 098-889-0568

旧陸軍病院壕跡

南風原文化センター  
南風原町字喜屋武257番地  
TEL098-889-7399 Fax098-889-0529

## 【中央公民館へのアクセス】

- 車 那覇空港自動車道「南風原北」・「南風原南」を降りて10分
- モノレール 首里駅下車 バス91番・190番
- バス (那覇方面より)40番・190番「南風原町役場前」下車徒歩1分  
(首里方面より)91番・190番「兼城十字路」下車徒歩10分  
(沖縄市方面より)30番「金城十字路」下車徒歩10分

## 【南風原文化センターへのアクセス】

- 車 那覇空港自動車道「南風原北」・「南風原南」を降りて10分
- モノレール 首里駅下車 バス91番・190番
- バス (那覇方面より)40番・190番「福祉センター入口」下車徒歩5分  
(首里方面より)91番・190番「兼城十字路」下車徒歩20分  
(沖縄市方面より)30番「金城十字路」下車徒歩20分